

手話言語の普及に係る関連事業実施状況

※実施主体：意志疎通手段ガイドブック以外は(一社)岐阜県聴覚障害者協会

1 手話等の普及啓発のためのアウトリーチ活動

【事業概要】

聴覚障がい・手話に対する理解・啓発を進めるため、行政機関、民間事業所、学校等において、研修会を実施する。

研修内容：聴覚障がいとは何か、ミニ手話講座

実施主体：(一社)岐阜県聴覚障害者協会



【平成 29 年度実績】

実施回数：15 回

参加者：698 名

(内訳)

5/16 市町村教育委員会研修 (14 名)、6/8 岐阜県職員 (158 名)、6/12 岐阜県職員 (69 名)、6/16 岐阜県職員 (36 名)、6/30 下呂市役所 (20 名) 8/1 中津川警察署 (50 名)、9/21 大垣市役所 (48 名)、10/12 鏡島小学校 (95 名)、10/20 羽島市民生委員 (25 名)、10/23 八百津中学校 (台風中止)、11/16 大野町役場 (32 名)、美濃加茂市役所 (56 名)、12/6 瑞浪市役所 (32 名)、2/6 飛騨市役所 (40 名)、3/23 岐阜放送 (9 名)、3/24 県聴覚協会講師団 (14 名)

2 意思疎通支援者派遣事業

県の主催する県民向け行事に手話通訳者を派遣し、意思疎通支援の充実を図った。各行事主管課へ手話通訳者の配置を促し、意思疎通支援の充実に繋がった。

また、県主催行事に手話通訳者が配置されていることを県民が目にする機会が増えたことにより、手話への理解が進んだ。

【実績(～H30.12)】 手話通訳設置行事： 62 行事

実施主体：(一社)岐阜県聴覚障害者協会



3 手話教室

【概要】

手話に関心のある一般県民を対象に手話に関する入門講座を実施する。

会場：岐阜県聴覚障害者情報センター

時期：毎月開催

実施主体：(一社)岐阜県聴覚障害者協会

【実績】

平成29年度参加者：28名



4 意思疎通支援普及啓発事業

(1) 手話言語条例制定記念イベント

平成30年4月に「岐阜県手話言語の普及及び障害の特性に応じた意思疎通手段の利用促進に関する条例」の施行を受け、県民に対して、手話言語及び障がい者の意思疎通手段についての理解啓発を行った。

【実施内容】

開催場所：OKB ふれあい会館

参加人数：約1,000人

実施主体：(一社)岐阜県聴覚障害者協会



(2) 意思疎通手段ガイドブック

障がいのある方の意思疎通手段について、記載したガイドブックを作成。

発行予定：平成31年度中

実施主体：岐阜県

